資料3

2023年度活動計画

※本研究会会場：日本記者クラブ（プレスセンター）会議室等及びWebによるオンライン開催
※各分科会は、2か月に1回ペースで開催予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本研究会	●第1回 4/27(木) 13:30		●第2回 6/20(火) 13:30		●第3回 8/29(火) 13:30		●第4回 10/31(火) 13:30		●第5回 12/5(火) 13:30		●第6回 2/8(木) 13:30	
基調講演	各分科会より報告		東京大学教授 芋生憲司様		調整中		調整中		調整中		各分科会より報告	
①サーキュラバイオシステム分科会	・公的助成事業への申請準備・申請						・（採択された場合） 契約締結後、事業開始。パイロット設備の見積・発注へ					
②広域資源循環システム分科会	・ 対象資源の選定、モデル事業プランの具体化及び課題整理等 ・ リサイクルポート推進協議会との連携を推進 ・ リサイクル技術に関わる動向を注視しつつ検討											
③資源前処理保管技術検討分科会	・ 分科会活動を全面的にリセットし、新たな立ち上げ時はNPO環境技術支援ネットワークのメンバー企業でスタート。分科会活動に賛同し、活動される方のみ参加資格を持つ。 ・ 分科会活動はNPO事務所（東京錦糸町）または福岡大学北九州キャンパス（若松区ひびきの）とし、リモートを中心とするハイブリッド方式とする。分科会連絡事務はNPOまたは福大で行う。											
④リン循環分科会	・ リン酸を生産している企業との連携やバイオマス発電灰のリン資源の利用を検討 ・ 都市圏での下水汚泥からのリン回収技術を検討 ・ 地方圏での堆肥・コンポスト化の実証を図るため、地方での分科会を設立											
⑤分散型再エネ地域システム分科会	・ 有望事例の現地視察・ヒアリング ・ メンバー立地地域でのフィージビリティ・スタディ等											
⑥DX分科会	・ 事業会社のサプライチェーンでの温室効果ガス排出に焦点を当て、サプライチェーン上、重要な静脈の要となる廃棄物処理業者が果たしうる役割について、情報的な観点から検討する予定											